

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと

2019
7月号



創立130周年記念イベント「イオンモールKYOTOキャンペーン」(京都市南区)



レッドライトアッププロジェクト (京都府庁旧本館)

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

 **日本赤十字社** 京都府支部
Japanese Red Cross Society



皆様に支えられ、京都府支部は 創立130周年を迎えました

健康コーナーでの血圧測定

京都府支部は、1889(明治22)年2月20日に創立し、以降、京都府民の皆様に支えられながら活動をし、今年で創立130周年を迎えました。これからも変わらぬご支援をお願いいたします。



防災教材「ぼうさいまちがいがし
きけんはっけん！」による防災学習

支部創立130周年記念イベント 「イオンモールKYOTOキャンペーン」を実施

6月16日(日)、イオンモールKYOTO SAKURA館 1階センターコートにおいて、山田支部長をはじめ、関係者の方々にもご参加いただき、記念イベント「イオンモールKYOTOキャンペーン」を開催しました。

当日は、ボランティアの皆様や青少年赤十字高校生メンバー、赤十字施設の職員の協力を得て、「健康コーナー」、「防災学習コーナー」、「救急法体験コーナー」、「子ども救護服着用＆写真撮影コーナー」、「献血クイズコーナー」、「缶バッジ作成コーナー」を設けるとともに、屋外では献血やティッシュの配布を行うなど、多彩な活動を行い、赤十字活動をPRしました。

毎年5月実施のポルタキャンペーンで 『平成の災害と赤十字』展を開催

5月26日(日)、京都駅前地下街ポルタ「ポルタプラザ」において、イベント「ひろげよう赤十字の輪(和)『平成の災害と赤十字』展」を開催しました。

会場では、平成に起きた災害における赤十字の活動を振り返るタペストリーを展示し、多くの方に見ていただくことができました。当時のことを思い出して涙ぐんでいる人、目の不自由な方に一つ一つ言葉で説明をしている人、子供に災害について教えている親御さんなどもおられました。また、缶バッジ作成コーナーでは、日本赤十字社の公式マスコットキャラクターであるハートラちゃんや採血車などの缶バッジを多くの子供たちが夢中になって作っていました。



東日本大震災の写真を熱心に見られている親子連れ



大人気のオリジナル缶バッジ作成コーナー

「まいづる田辺城まつり」に赤十字ブースを出展

5月26日(日)に舞鶴公園で開催された「まいづる田辺城まつり」にブースを出展し、舞鶴赤十字病院の職員やボランティアの方々と共に啓発活動を行いました。

当日は、最高気温32.7度の真夏日であったにもかかわらず、多くの親子連れが赤十字のブースを訪れ、子ども救護服の着用体験やオリジナル缶バッジの作成に興じるとともに、日本赤十字社公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」とのふれあいを楽しまれました。

また、会場近くの明倫小学校で実施した献血や、ボーイスカウトの皆様による募金活動に対しても、多くの方々にご協力いただきました。



救護訓練に参加し、災害への対応力の向上に努めています

トレーニング用の人形を使用し、
診察を行う救護班

京都府支部では、定期的に訓練や研修会を実施し、災害に備えて編成している救護班要員の技術の維持及び向上に努めています。



傷病者役の看護学生に聞き取りを行う救護班

日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練に参加

6月15日(土)に、滋賀県の竜王町総合運動公園、竜王町防災センター、滋賀県赤十字血液センター、日本赤十字社滋賀県支部を会場として、近畿2府4県の赤十字施設が合同で災害救護訓練を行いました。

今回は初の試みとなる「メディカルラリー方式」での訓練が行われ、医師、看護師、薬剤師、主事から成る救護班が、決められた時間内にどれだけ迅速で正確に救護を行えるか競い合いながら、救護員としてのスキルアップを図りました。

京都府支部からは53人が参加し、訓練内容を通じて、実際の災害時にどのような活動が必要なのか改めて確認することができました。

救護班要員基礎研修会を実施

5月18日(土)に、京都第一赤十字病院において「京都府支部救護班要員基礎研修会」を実施しました。

京都府支部では災害に備え、救護班を15班編成しており、救護班要員として登録された職員を対象として、救護活動を行ううえで必要な知識や技術の習得を目的に研修会を行っています。

今年度は、京都府支部、府内3病院(第一・第二・舞鶴)及び京都府赤十字血液センターなどから総勢104人が参加し、救護班の役割や無線の操作、トリアージ、避難所での活動に関する机上訓練等を行い、救護班の活動について理解を深めました。



真剣な面持ちで研修に臨む救護班要員



ピア・エデュケーションを通じ、HIV/AIDSについて学ぶ青年赤十字奉仕団員の方々

HIV/AIDSピアリーダー養成研修会を開催

6月29日(土)と6月30日(日)の2日間、右京区の「あうる京北」(京都府立ゼミナールハウス)において「HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会」を開催し、全国各地から22人の青年赤十字ボランティアの方々が参加されました。

研修会では、同世代の価値観を共有する仲間(ピア)同士が、様々な問題を一緒に考え、学ぶ方法であるピア・エデュケーションを活用し、HIV/AIDSの予防啓発活動を推進していくリーダーの養成を行っています。

参加された方々は、2日間の研修を通じて、ピア・エデュケーションの方法やHIV/AIDS等について学び、同年代の仲間と意見を交わすことで、今後のHIV/AIDSの予防啓発活動を担っていくうえで必要な知識や技術を身に付けられました。



ボーイスカウトの方々による
活動資金の募集

あなたのご支援が 赤十字の活動を支えています

赤十字の諸活動は、皆様からお寄せいただく資金によって支えられています。ご協力いただいた資金を活用し、「いのちと健康を守る」ための活動を展開しています。皆様からの温かいご支援をお待ちしています。

●地域でのご寄付

赤十字奉仕団や町内会・自治会などを通じてご寄付いただいているほか、年間を通じて府内の各市区町村の日赤窓口からのご寄付いただけます。

●口座振替によるご寄付

ご登録いただいた金融機関の口座から希望月に自動引き落としでのご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

●遺贈・相続財産等のご寄付

京都府支部では、遺贈（遺言によるご寄付）、相続財産等のご寄付を承っています。詳細については、下記のコラムをご覧ください。なお、ご不明な点については、当支部（075-541-9326）までお問い合わせください。

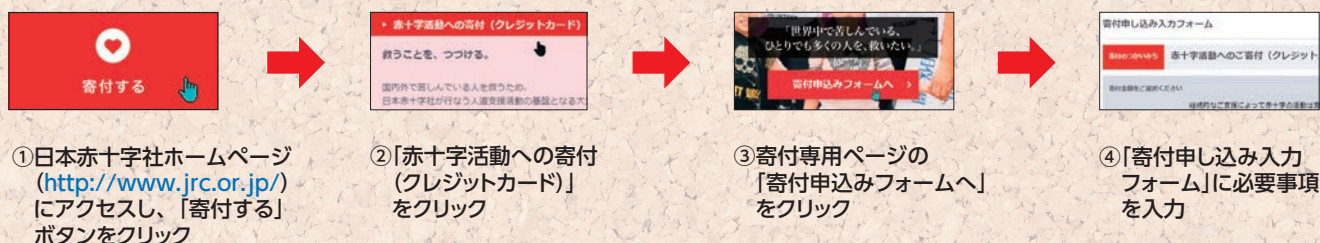
●寄付金付自動販売機の設置によるご寄付

自動販売機の売上げの一部をご寄付いただく方法です。設置に要する費用は全て販売会社が負担します。新規設置だけでなく、更新設置も可能です。詳細については、当支部（上記と同じ）までお問い合わせください。

●クレジットカードによるご寄付

ご登録いただいたクレジットカードから、寄付回数を選択してご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

<活動資金にご協力いただく際の流れ(クレジットカードによるご寄付の場合)>



遺贈・相続財産等のご寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまでに築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」、また、大切な方を亡くされたご遺族から「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えていています。お申し出をされる方々の事情は様々ですが、ご自身や故人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付したいという思いは共通しています。

日本赤十字社では、「遺言によるご寄付(遺贈)」「相続財産のご寄付」「ご香典のご寄付」などの相談窓口を設置し、このような尊いご意思にお応えしています。

詳細を記した右記のパンフレットを用意していますので、お問い合わせください。

日本赤十字社へのご寄付には相続税がかかりません。



令和元年全国赤十字大会開催

5月22日(水)に、令和元年全国赤十字大会が明治神宮会館(東京都渋谷区)で開催されました。5月1日付で日本赤十字社の名誉総裁に就任された皇后陛下のご臨席の下、全国から関係者約1,900人、京都府からは36人が出席しました。

式典では、名誉総裁から赤十字社の活動の推進に尽力された個人・団体の代表13人に有功章が授与されました。実践活動報告では、岡山赤十字病院の齋藤博則医師が昨年7月の豪雨災害における救援活動について、また、神奈川県赤十字国際奉仕団の田中友美乃さんがユースボランティアの活動について、それぞれ報告されました。



赤十字の活動を支援していただいている個人や法人の代表に有功章を授与される皇后陛下



看護師への第一歩を踏み出した新入生たち

看護専門学校の入学式を挙行

京都第一赤十字看護専門学校(4月10日)と京都第二赤十字看護専門学校(4月5日)で、入学式が挙行されました。

新入生たちは、緊張した面持ちで式に臨み、看護の道を目指す誓いを新たに、看護師への第一歩を踏み出しました。

今後、人道に基づく看護の実践者となるため、様々な研修や訓練、実習等を通じて看護の知識や技術、心について学んでいきます。

骨髄ドナー登録、さい帯血の提供にご協力をお願いします

日本赤十字社では、患者の皆様に適する「骨髄ドナー」や「さい帯血」をインターネットでいつでも探すことができるように、「骨髄ドナー登録者」や「さい帯血」の情報の管理や検査のほか、全国の献血会場における骨髄ドナー登録の受付や公的さい帯血バンクの運営をサポートする活動を行っています。

広報誌やポータルサイト(<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>)を通じて啓発活動を行っていますので、骨髄ドナー登録、さい帯血の提供へのご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。



骨髄バンク、さい帯血バンクに関する広報誌「BANK!BANK!」



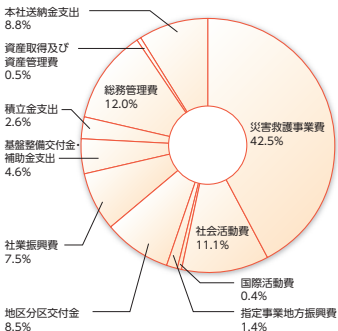
審議される評議員の皆様

日本赤十字社京都府支部評議員会を開催

6月20日(木)に日本赤十字社京都府支部評議員会を開催しました。支部、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院の平成30年度歳入歳出決算案等の審議が行われ、原案どおり承認されたほか、京都府赤十字血液センターにおける平成30年度の概況報告が行われました。

また、役員の選出について審議が行われ、山崎善也 京都府市長会会長(綾部市長)が新たに副支部長として選出されました。

平成30年度 日本赤十字社京都府支部 一般会計決算



決算額(千円)		内 訳
災害救護事業費	202,051	災害救護に係る経費、救護資機材等の整備費、救護看護師の養成経費など※
社会活動費	53,048	救急法、水上安全法、幼児安全法等の講習開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
国際活動費	1,835	国際開発協力事業に係る経費など
指定事業地方振興費	6,831	災害救援設備の整備に係る経費
地区区分交付金	40,486	地区区分の事務費及び事業費
社会振興費	35,639	社員や会員の募集、広報活動に係る経費など
基盤整備交付金・補助金支出	22,094	医療施設や血液センターの基盤整備のための交付金
積立金支出	12,523	施設整備準備資金積立金など
総務管理費	57,207	光熱費、事務費など
資産取得及び資産管理費	2,514	庁舎の維持管理費など
本社送納金支出	41,655	本社の国内・国外活動に係る経費
歳出合計	475,883	

※7月豪雨災害に係る府内災害義援金送付金175,969千円を含む。



日本赤十字社の活動にご協力いただいた場合、次の「税制上の優遇措置」や「表彰制度」の対象となります。

税制上の優遇措置(寄付金控除等)

赤十字の活動資金にご協力いただいた場合は、制度上の優遇措置が受けられます。

個人：確定申告をすることにより、所得税や住民税の控除が受けられます。
(その年の寄付金の合計額が 2,000 円以上必要です。)

法人：寄付金の額を損金に算入することができます。

表彰制度

【日本赤十字社の表彰】

区 分	基 準
銀色有功章	一時又は累計で、20万円以上50万円未満のご協力をいただいた個人・法人
金色有功章	一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人
日本赤十字社社長感謝状	金色有功章受章後、一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人

【国の表彰】

区 分	基 準
厚生労働大臣感謝状	一時又は同一年度内に累計で、100万円以上500万円未満のご協力をいただいた個人、又は300万円以上1,000万円未満のご協力をいただいた法人等
紺綬褒章	一時又は3年以内の累計で、500万円以上のご協力をいただいた個人、1,000万円以上のご協力をいただいた法人等



銀色有功章



金色有功章 (個人)



社長感謝状



厚生労働大臣感謝状



紺綬褒章

活動資金協力企業・団体のご紹介

日本赤十字社京都府支部の活動は、皆様のご支援により支えられています。
活動資金にご協力いただき、誠にありがとうございました。

●左京区

井元会計事務所
株式会社美也古商会
聖護院御殿荘

●中京区

株式会社公益社
株式会社セレマ
都興産株式会社

●東山区

三洋化成工業株式会社

●下京区

株式会社ロマンズ小杉
NPO法人 DREAM TOY's

●南区

京都ケアサービス株式会社
中西電建株式会社

●右京区

株式会社浄美社
株式会社ユタカ

●伏見区

サムコ株式会社
株式会社ヤマモトホールディングス
有限会社林工務

●福知山市

天藤製菓株式会社

●舞鶴市

JPパートナーズ株式会社

●向日市

株式会社プリントパック

●木津川市

株式会社福寿園

●久御山町

五洋精工株式会社

●宇治田原町

株式会社木長園

※平成30年度中に10万円以上の活動資金をお寄せいただいた赤十字会員のうち、掲載をご了承いただいた企業・団体を掲載しています。
(敬称略、五十音順)